

防犯 かわちながの

平成22年3月

第3号

河内長野防犯協議会

586-0024 河内長野市西之山町6-1

河内長野警察署内

Tel.0721-54-1234



防犯とは

ご近所のみなさんと

親しくお付き合いをして

声を掛け合い

そして、みんなで

不審な者が

近寄れないような

安全・安心な

まちづくりをすることです

大阪府下で河内長野市は治安の良さでトップ

平成21年中、河内長野市は人口10万人あたりの全刑法犯認知件数（犯罪率）は府下33市の中で一番低い数字でした。つまり、府下33市の中で一番治安の良いのが河内長野市といえます。これも、河内長野警察署・河内長野市・河内長野防犯協議会はじめ地域の皆様の普段の活動の成果であると思っています。

大阪府下33市の犯罪率順位（人口10万人あたりの全刑法犯認知件数：暫定値）

- | | | | |
|----|-------|--------|---------------------------------|
| 1位 | 河内長野市 | 1093.5 | 大阪府下平均の犯罪率は2069.1であり、河内長野市はその約2 |
| 2位 | 池田市 | 1225.2 | 分の1強でありました。 |
| 3位 | 高槻市 | 1245.2 | |

ただし、治安の良さでトップとはいえ、体感治安は決して良くはなく、昨年末、市内全域で家中に泥棒が入るといふ空き巣ねらいが連続発生しました。そして、今年に入っても残念ながら河内長野市全域で空き巣が多発しています。不審者・不審車両を見かけたら、迷わず110番通報してください。今一度「わが家の防犯対策」の見直しをお願いします。1 ドア 2 ロックなどの防犯対策や留守と見られない対策も重要です。

一向に良くならないこの不況下では治安の悪化が懸念され、少しでも油断すると犯罪が一気に増加する可能性があります。

このようなときこそ「地域住民が声をかけあう」ことが大切であり、一人ひとりの住民の防犯に対する更なる意識の高揚が必要だと考えます。（河内長野警察署 生活安全課）

なぜ、トップになったのでしょうか？

それは、地域でのさまざまな防犯活動が犯罪の抑止力となっているのではないのでしょうか。その一例を以下に紹介します。

河内長野防犯協議会の昨年1年間の主な活動

1. 「河内長野防犯回覧板」の配布

この回覧板に掲載の車上ねらい、侵入盗の防犯シートで防犯診断することにより、ご家庭や自治会で身近にできる「防犯対策」などについて話し合ってくださいよう、市民に向けてPRしました。

2. 地域安全運動の実施

春と秋の2回にわたり全国地域安全運動街頭キャンペーンとして通行者に啓発物品を配布し運動の啓発を図りました。

実施場所は次のとおりです。

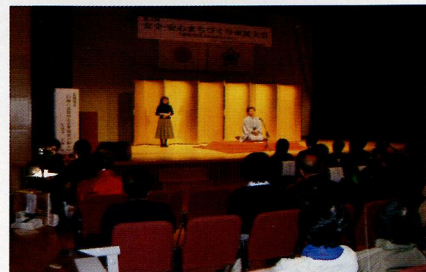
河内長野駅前、千代田駅前、三日市町駅前、美加の台駅前、汐ノ宮駅前



3. 安全・安心まちづくり市民大会への参画

平成21年11月29日(日)キックスイベントホールにおいて、安全・安心まちづくり市民大会が開催されました。

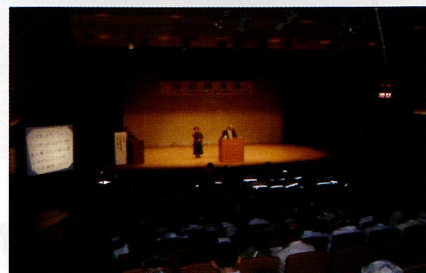
これはより安全で、安心して暮らせる河内長野市を目指し、防犯、防火、青少年健全育成、福祉、人権、交通安全など生活安全にかかる団体が一体となって総力を結集し、効果的な諸活動を誓いました。また、安全・安心のまちづくりにかかる講演を行い市民一人ひとりの安全に対する意識の高揚を図りました。



4. 防犯講演会の開催

平成21年8月28日(金)キックスイベントホールにおいて防犯講演会を開催しました。

これは地域での自主的な防犯活動を一層推進するため、河内長野防犯協議会、河内長野警察署、河内長野市主催で開催したものです。



地域における防犯活動

1. 川上第3支部防犯教室の開催

平成21年10月7日(水)楠台自治会館に河内長野警察署生活安全課片山係長を講師としてお迎えして防犯教室を開催しました。

当日は台風18号の影響で雨が降っていましたが、35名の参加者があり、とても熱心に受講しました。「振り込め詐欺を防ごう」を主題として、大阪府警本部で作成された、DVDを視聴したあと、大阪府下における犯罪の発生状況並びに河内長野市の現状についてもお話を聴くことが出来ました。また、空き巣防止対策についても非常に分かりやすく説明をしていただきました。これからも安全・安心なまちづくりに住民全員協力したいと思います。(川上第3支部長 石丸信彦)



2. 野作防犯教室の開催

平成21年6月14日(日)河内長野市市民協働室東部主幹をお招きし「地域で防犯」はじめませんか、というテーマで講演をしていただきました。その中で『犯罪者は人間関係の希薄な街を好みます。ですから、住民が防犯意識を高め、力を合わせる事が大切です。「この街での犯行は無理だ」と犯罪者に思わせるほどの



地域住民の結束力があれば犯罪は自然と減っていきます。』ということを学びました。90名の参加者はうなずきながら、熱心に聴き入っていました。(長野第5支部長 向井寛司)

3. 子ども参加の夜警

寿町では毎年、年末の夜警を大人・子どもが参加して大変賑やかにやっています。12月28日～30日までの3日間、延べ大人150名、子ども31名 総員181名1日平均60名で夜警を実施しました。

人数が多すぎて行列が 100 メートル位になり、交通事故にならないよう、全員が注意しながら行いました。子どもたちは拍子木を取り合いしたりして賑やかな夜警となりました。子どもたちが夜警に参加することにより、大きな社会勉強になった、という親御さんの声が役員の耳に聞こえてきています。(寿町防犯センター長梅田隆司)



4. 市町の防犯活動

一歩外に出れば、まったく何が起きるか分からない！

物騒で不安な世情の中、犯罪からわが町を守るため、そしてこの町に住む人たちが心を合わせ助け合いながら、安心して暮らせるまちづくりを目指して結成した団体「愛と防犯」であります。これは各種団体のリーダーによる意見の集約から企画され、事業に参画できる町の有志により組織し運営しています。

最近の活動は昼夜に別れ以下のおり活動しています。

- (1) 見守り隊と称し、18 名が子どもの登下校時の警戒にあたり、週一回子どもの見守り業務の後、暇が出来た日に全町内を一周しながら、子どもたちに言葉をかけ、情報を収集し業務日誌に記録しています。
- (2) 夜間の警戒と街灯の点検、一戸一灯運動の推進を中心に 16 名が 4 班に分かれ、一ヶ月に 4 回、毎週一回の交番制で各班が自主的に定めた日に巡回し夜警に当たっています。



上記のようにこの町に住む人たちの善意による地道な奉仕活動によって、市町は安心して住める町として守られています。(千代田第 2 支部長 北尾忠行)

防犯レディースの活動

河内長野駅前でのひったくり防止キャンペーンでの出来事です。

私たち防犯レディースは紫色のジャンパーを身にまとい、警察の方々や防犯委員さんとともにキャンペーンに参加しました。いつものようにティッシュを配りながら道行く人たちにひったくりに遭わないよう、呼びかけをしました。そして、自転車の方にはひったくり防止カバーを配布したり、実際に取り付けたら喜んでいただきました。その時、子ども連れの主婦の方に「防止カバーはいかがですか？」と、差し出したところ、げげんな顔で「おいくらですか？」と聞かれ、とても驚きました。「いえいえ、差し上げます」と応えると、「ありがとうございます。これで安心です」と、にっこりして帰って行かれました。その後姿を見ながら、私たちの活動はまだまだと深く反省しました。これからもレディースの活動がひったくりの撲滅や地域の安全・安心につながるよう、そして安心して暮らせる町「河内長野」を目指してがんばって行きたいと思えます。又、どこかで紫色のジャンパー姿の私たちを見かけたら気軽に声をかけていただけたら幸せです。(防犯レディース代表 西田ミエ子)



大阪府警察学校の卒業式を参観して

河内長野防犯協議会の平成 21 年度研修会の一環として平成 22 年 1 月 26 日、交野市の大阪府警察学校の卒業式を参観しました。

330 名の卒業生が大阪府民の治安の守り手として「初々しい警察官」の誕生を目の当たりにして、感銘と心強い思いを抱きました。

植村府警本部長の訓示の後、整然と、きびきびした視閲行進に参観者から大きな拍手がわき起こり、第一線での各警察署への配属を見送りました。

早速、河内長野警察署には 3 名（うち女性 1 名）の新警察官が配属されました。期待しています。(天野第 2 支部長 廣瀬義雄)



自治会による南花台防犯ステーションが（スーパーコノミヤ内に）開設されました。

平成21年12月12日に南花台自治会による防犯ステーションが開設されました。

そこで、去る2月10日南花台自治会役員の方々とインタビューをさせていただきました。

Q なぜ、自治会で防犯ステーションを開設したのですか。

A 加賀田や三日市町駅前に交番所がありますが、南花台には3661世帯で人口約1万人も住んでいるにもかかわらず何もなく、長年、安全安心のシンボルが欲しかったのです。

Q 建設費用はどれくらいかかりましたか。

A スーパー『コノミヤ』さんのご配慮で、10年間無償で貸していただけることになり、大変ありがたかったです。そして建設会社のご好意で約277万円と、負担が軽く住みました。設計も1級建築士の方に無償でやっていただきました。河内長野市からの直接的な助成金は少なかったが、市民協働室のアドバイスにより日本財団から100万円の助成金と大阪府自転車商防犯協力会から助成金10万円を頂くことができました。そして、胡蝶蘭等、沢山のお花類を匿名の方々から頂戴いたしました。

Q 維持費はどれくらいですか。

A 月当たり1万2千円～2万円ぐらいで、夏場の冷房を考慮しても2万円まででしょう。トイレは「コノミヤ」さんのトイレを使わせてもらっています。電話は自治会専用の携帯電話の子機を常時使っています。

Q 運営体制はどうなっていますか。

A 正月1月1日～3日までは休みで、これ以外は無休です。

現在、90名の方々が出ていただいております、月1回～2回ぐらいの当番をお願いしています。

Q 警察の交番所との違いは何ですか。

A 権限も責任もない危険なことには携わりません。住民の方から、何か相談があった場合、それに応えるのではなく、相談窓口を紹介することになっています。

Q オープンして約2ヶ月が経ちましたが、良かったことや問題点など、ありますか。

A ここにいるだけで、防犯上の抑止力になっていると思います。そして青少年が、たむろしなくなりました。いつでも開いているので高齢の方々の生きがい、コミュニティ、人の輪のつながりとなって、和気あいあいと楽しい雰囲気です。

Q 住民から意見や不満が出ていませんか。

A 人間それぞれ価値観が違います。中には「住民がやることではない、行政がやるべきなのに、何をしてるのか。」などのご意見もいただきましたが、熱い気持ちで情報公開に努力し、定期的に活動報告をして理解を求めてきた結果、かなり、わかっていたのではないかと考えています。

Q 今後、どのような方向性にもって行きたいですか。

A 地域の住民の方々から、どれだけ活動しているか、見られていると思っています。理念として世代間交流、コミュニティなど多くの人々に理解していただきたいし、若い人たちも自由に入ってきて話しかけてきて欲しいと思っています。そして、将来的には行政機能の分野なども検討したいと考えています。



平成21年12月12日
南花台防犯ステーション開所式



平成22年2月10日防犯ステーション内での南花
台自治会役員と本誌編集委員とのインタビュー